

栄養不良 1300万人増加も

ウクライナ侵略 食料・飼料が高騰

国連食糧農業機関（FAO）は3月25日、ロシアのウクライナ侵略の影響に関する情報を公表し、食料・飼料の国際価格が8〜22%上昇し、栄養不良人口が800万〜1300万人増加するなどの試算を示しました。

国連食糧農業機関が試算

FAOによると、小麦、マワリの種、ヒマワリ油の輸出でロシアかウクライナ少は、他の諸国によっては

ナ（または両国とも）が世界3位以内に入る農産物輸出国です。また、ロシアは窒素肥料1位、カリウム肥料2位、リン肥料3位の輸出国。

FAOの試算によると、

補いきれず、食料と飼料の国際価格が今の水準よりも8〜22%上昇する可能性がある、あるといわれています。

また、ウクライナで輸送インフラが破壊され、黒海に停泊する船舶の保険料が引き上げられかねないなど、輸送コストも上昇。それも食料価格を引き上げる恐れがあります。

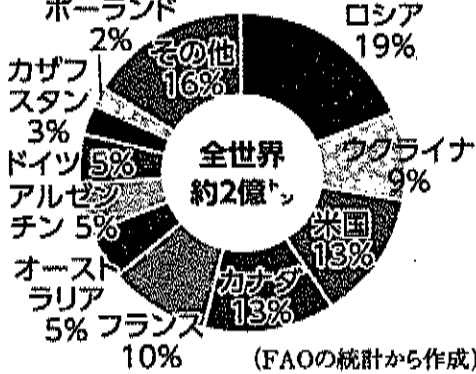
ウクライナでは冬作の20〜30%が収穫されず、春作の作付けも不確実。ロシアでは経済制裁で農薬や種子の輸入が困難になり、収穫量や品質に影響し、食料供給が不安定になるといいます。

ロシアとウクライナの食料輸出の減少が長期にわたる場合、FAOの試算によると、世界の栄養不良人口が2022/23年度に800万〜1300万人増加する可能性があるといわれます。アジア太平洋が最も増加し、次いでサハラ以南のアフリカ、さらに近東、東アフリカと北アフリカと続きます。



ウクライナ・キエフ州の麦畑。2020年7月17日（ロイター）

世界の小麦輸出に占める割合 (2020年)



世界の大麥輸出に占める割合 (2020年)

